



～学び 愛し 翔る 西郷小～

西郷富士

QR コード
登録お願
いします。



西郷小学校

R1 第10号

令和元年 6月 4日

文責 校長 田中裕子

自然体験学習 その2

2日目は野外炊飯を体験した子どもたち。お決まりのカレー作りです。家庭科ではまだゆで野菜ぐらいしか学習のしていない時期のため、ジャガイモの皮むきはピーラーがあるとは言え、大苦戦となります。作るまではまだ食べたいという本能に導かれ、何とかたどり着くのですが、問題は片付けです。ここ北山少年自然の家は片付けチェックの厳しさで有名で、ある学校は6回チェックを受けたところもあるそうです。

「今年はどうでしたか」と尋ねると、「そんなことはなかったですよ、子どもたちもわかっていたので一生懸命してくれて2回ぐらいで合格しました。」と、報告してくれた5年担任。その隣で、「2回で合格でき一番嬉しかったのは自分かもしれません。」と教務の小淵先生がつぶやいていました。その一言からいかにチェックが厳しいかを感じ取りました。

幸い、事前の予報では雨だったにも関わらず好天に恵まれた今年の自然体験学習。緑溢れる中、自分たちで作ったカレーの味はいつまでも忘れないことでしょう。準備から当日の運営まで陰で子どもたちの行動を支えていた安井先生、西山先生そして久野先生のチームワークも抜群でした。

HPに写真を掲載していますので是非ご覧ください。



全校朝会にゲストを招聘

5月はいじめ防止月間であることを先の学校だよりにてお伝えしたところですが、いじめの一因に、相手のことをよく知らないということで、からかいや心無い言葉を発するということがあげられます。子どもたちの世界は家庭や学校等に限られている傾向があることから、様々な人に出会う機会を意図的に作っていくことも学校の責任の一つだと考えています。

そこで、31日の全校朝会では、28歳の時バイク事故に遭い、胸から下が動かないという障害がある鈴木さんにお話をさせていただきました。車椅子で全校児童の前で、居住まいを正し挨拶をされると、子どもたちは鈴木さんの話にじっと耳を傾けていました。

事故に遭われたきっかけ、体の不自由さのこと、生活について、車椅子の人を見かけたら手助けしてほしいことなど、静かに語られる一言、一言が子どもたちの心に届いているように感じました。質問には、「生活で不便さを感じる」とや「どうやって車に乗るのか」等、車椅子だったらできないことが多いのではと、子どもたちの疑問が出されました。

終了後、またいつでも来ますとのことでしたので、次回は学級単位で鈴木さんと直接話してほしいと思います。帰り際、車に乗られる様子を撮影許可いただき録画しました。学習に活用したいと思います。

なお、児童に還元できると考え謝金はPTA活動費から支出することにしたのですが、固辞されました。そこで、鈴木さんが支援する「特定非営利活動法人障害者自立生活支援センター ドリーム・ロード」に寄付という形を取らせていただきましたことを報告します。

